

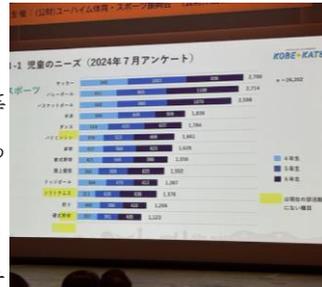
**ユーハイムスポーツフォーラム2026** 2月28日スポーツ指導者講習会に行ってきました。ユーハイムが主催、兵庫県スポーツ協会が共催している指導員資格を取るための講習会です。部活動のあり方や指導者の声かけに関する講演、加えて9月から始まる「コベカツ」に関する話がメインでしたので、とても参考になりました。「やる気を起こす魔法の言葉」というテーマで講演された日本ペップトーク普及協会岩崎由純代表理事は、軽快なトークで選手のやる気を引き出すには、禁止用語でなく、前向きになる言葉を使うことが大事だということを強調されました。例えば前回のWBC決勝で大谷選手



魔法の言葉」というテーマで講演された日本ペップトーク普及協会岩崎由純代表理事は、軽快なトークで選手のやる気を引き出すには、禁止用語でなく、前向きになる言葉を使うことが大事だということを強調されました。例えば前回のWBC決勝で大谷選手

が声かけをされましたが、①してはいけないこと②その理由③そしてどうすれば良いか④激励というようなことです。① 今日だけは憧れるのをやめましょう②トップになるために来たので③ 今日一日だけは勝つことだけを考えていきましょう④さぁ行こう！というように短い話の中に、すべての要素を入れて話をする事でその場の雰囲気盛り上がるというものです。指導者のミーティングで長い話は禁物とよく言われます。同じことを繰り返すのも効果のないときが多いです。簡潔に具体的に、そしてその理由も含めて最後は激励で締めるのが良いそうです。このペップトークという手法は身につけておくと指導者としては活用方法が多いと感じました。関心のある方は是非調べてみてください。

そして「コベカツ」です。神戸市教育委員会担当課長が導入の経緯、現在の進捗、今年度実施に向けての課題等を説明されました。現在ない部活動への活動希望も多いため、生徒の選択肢を増やすことを目的とし、さらには少子化による影響を考えた導入ということでした。現在1000を超える登録があり、実施に向けて費用等の調整や交通手段の調整に入っているようです。また、大会運営についてはそれぞれの競技団体との交渉を進めているとのことでした。私たちを含め、小中学生の保護者にはもう少し見える形にして進めていただければ嬉しいです。また、良い形になるにはしばらく時間はかかると思いますが、子供達の望ましい成長に繋がるように、私たちもできる形で協力をしていかねばならないと思っています。



その後のシンポジウムでは、講演を聴いていた観客からも「コベカツ」への質問が集中しました。ペップトークに関しては、試合に出ることができない選手への声かけについての質問が出ましたが、選手の頑張りを認め、褒める声かけをする中で、その選手が試合に向かう選手を応援できるチームにしていくことが必要であるとの回答でした。運動部で頑張る生徒が多い本校にとっても、大事なことを教えていただいたように思います。自身の資格更新講習で参加した講演会でしたが、良い勉強になりました。

**兵庫県警による自転車講習会** 3月11日には兵庫県警の方に来ていただき、自転車のルールに関する講習会を持ちました。4月から導入される自転車の交通反則通告制度(青切符)についての理解を深める話です。反則金が課せられる場合があるということで、本校の通学での自転車利用者は少ないですが、学校生活以外での利用の場面で知っておかねばならないことです。基本的には車両扱いということを確認しておかねばなりません。標識を見て走る場所を考えなくてはなりませんし、走る場所によって見る信号も変わります。歩道を走る際の注意など非常に細かなことが決まっています。青切符を切られた場合(16歳以上)は反則金を支払わなければなりません。皆さんに関係するところであれば、ながらスマホでしょうか。傘差し運転も対象となっています。通行区分もそうですが、自転車に乗る人もあまり乗らない人も一度確認をしておいてください。次の登校は教科書販売等になります。そして3学期終業式。次のステージに向けた準備をしましょう。



歩道を走る際の注意など非常に細かなことが決まっています。青切符を切られた場合(16歳以上)は反則金を支払わなければなりません。皆さんに関係するところであれば、ながらスマホでしょうか。傘差し運転も対象となっています。通行区分もそうですが、自転車に乗る人もあまり乗らない人も一度確認をしておいてください。次の登校は教科書販売等になります。そして3学期終業式。次のステージに向けた準備をしましょう。